

も い 森 林 の 話

第10話

日高南部森林管理署

吉田 太陽

採用二年目の若手職員のコーナーです

春にはたくさんのお花で彩られていた山々も、夏は緑一色に覆われ、秋には紅葉が私たちを楽しませてくれます。



オオサクラソウ (5月下旬)

私は今年の4月に日高南部森林管理署に赴任しました。赴任した当初は日高の急峻な山々に驚きました。森林調査や林野巡視等で山を歩くと翌日は筋肉痛になりましたが、次第に体が慣れてくると周りの植物や野生動物の地形など、様々なものを観察できる余裕が生まれ、毎日様々な発見が私を驚かせてくれます。山は季節や天候で植物や地形が少しずつ変わり、数ヶ月過ぎただけで別世界の様です。

山に入ると町で生活するよりも季節や時間の移り変わりを強く感じる事ができます。これが山の魅力の一つでもあります。自然とふれあうため毎日多くの方々が山を訪れています。

山に向かうためには、林道を通行します。

普段何気なく通る林道ですが、土木を学んでいない私に、興味深いと感じたことについて幾つか紹介したいと思います。

○路面の排水処理

林道は、森林の管理や整備には欠かせない重要な施設です。土構造で作設されているため降雨等の影響を強く受けます。このため維持や管理するためにいろいろな工夫が見受けられます。

林道は、通常アスファルト舗装されていないため、車両が通行する路面は雨の影響を強く受けます。雨水が路面を走ることにより洗掘されると

通行に支障をおよぼすため、これを防ぐための設備がゴム板を木材で挟み固定した「木製路面排水工」です。簡単な構造ですが、路面を走る雨水をゴム板でせき止め側溝や谷側へ排水することにより、洗掘を防ぎ路面を保護する構造となっています。



木製路面排水工

○路体の下の排水処理

そのほかに、路面に水が走らぬよう林道の下には流水を通すための排水管が埋められています。路面の下なので気づきにくいですが、上流の沢水や側溝の水を下流の沢へ逃がすための構造になっています。この排水管にもいろいろな工夫が見られ、落ち葉や枝

で管が閉塞して路面に水があふれ、路体を崩壊させないよう呑口は木製の囲い等により保護がされています。

このような工夫により林道は厳しい環境の中で路体が維持されており、私たちは山奥の事業地まで入っていくことができるのだと知りました。

林道には自分にはまだわからない専門的な工夫が多く、まだまだ勉強しなければとの思いを強くしました。

これからの季節は紅葉を楽しんだり、釣りなど山を訪れるのに良い時期になります。その際は少し林道にも注目してみてはいかがでしょうか。林道は道幅も狭く見通しも悪い場所が多々あります。また、落石の発生やシカやリスなどの動物の飛び出しなど、多くの危険が潜んでいます。通行時は、一般の公道と同様にスピードの出し過ぎなど十分注意して走行していただき、安全に山をお楽しみください。